

自画自説 1991年「フィレンツェの春」F30号



「フィレンツェの春」F30号

日立の勤続25年褒賞休暇を得て奥さんとイタリア、フランスの旅を企画した。ヨーロッパはもちろん初めての旅でツアー参加も検討したが目的のスケッチ旅には合わず個人旅行になった。アエロフロートでロシア経由イタリアへ。ロシアでの1泊はひどいものだった。イタリアのローマに到着しほっとした。イタリアはローマからフィレンツェ、ベネチアを経てフランスに入った。

イタリアは何処も素敵でたくさんのスケッチをした。中でもベネチアは最も印象的な都市でした。ミケランジェロ広場からのベネチアの町はピンクの花の向こうに赤い屋根の市街地が広がっており統制の取れた美しい景色でした。町の中ではウフィツィ美術館を鑑賞し、ドゥオーモにも登った。どこの街角も絵になるようだった。また訪れたいところの一つです。

その後フランスはニースからマルセイユ、アルル、アビニョンを経てパリについた。食べ物、言葉に四苦八苦して20日間の夢のような旅が終わった。

家には高校生の長女を頭に3人子供を残しての旅だった。帰国後ご近所の奥様方からしっかりとおしかりを受けた。留守中はいろいろと食べ物を持って来ていただいたようだった。